グローバリゼーション　Globalization

1）ガットウルグアイラウンド　　３カ国以上の交渉をラウンドという。
1986年、南米ウルグアイ東方共和国の保養地プンタ・デル・エステに124カ国の代表が集まって開始されたGATT(関税貿易一般協定)の多角的貿易交渉で、94年まで続いた。自由貿易の拡大を目指して新しい貿易ルールを作る交渉である。それまでのGATTは、工業製品の輸入関税の大幅引き下げで貿易自由化に寄与してきたが、この協議では、それまで障壁となってきた①サービス部門、②特許など【1:　　】、③【2:　　】の自由化などについて交渉が行われた。中でも農業分野の交渉が難航し、将来的に全ての【2】を関税化に移行させること、最低輸入機会（ミニマム・アクセス）を決定するにとどまり、完全な自由化には至らなかった。
1994年、GATTを拡大発展させた「WTO協定」が作られ、GATTを改組して【3:　　】(WTO)を設立することが決定され、また貿易に関連する投資措置に関する協定　(TRIM)、サービスの貿易に関する一般協定（GATS)、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）等が成立し、農産物・金融・知的所有権・サービスの取引における自由化が始まった。1947年のGATTは改定され、「1994年のGATT」としてWTO協定の付属文書となった。1995年にGATTを継承して【3】(WTO)が設立されると、世界の一体化はさらに進んだ。WTOはワトーと読む。

2）グローバリゼーションは1970年代から使われている用語だが、1980年代には社会主義国に市場経済が導入され、一般的な用語となった。1991のソ連の崩壊で、1992年以降、より一層広まった。
ウルグアイ・ラウンド（1986-1994）以降、グローバリゼーションとは、経済面では、「**運輸と通信技術の爆発的な発展や、冷戦終結後の自由貿易圏の拡大によって、文化と経済の国境にとらわれない貿易が促進する事態**」（最狭義の定義）を指している。

3）グローバリゼーションの恩恵を最も受けているのは、①欧米の先進資本主義国と日本、②東・東南アジアの諸国である。
①は生産拠点の海外移転※1や原材料のグローバルな世界最適調達※2などが可能になり、国民も世界中から輸入された安い商品を購入できる。②は①からの先端技術の導入が簡単になり、とりあえず国際社会で売れる商品を生産できるようになり、雇用も拡大できる。

※1　だから①では産業の空洞化が進み、大規模な製造業の工場は低賃金と甘い公害規制に期待して次々と海外に移転し、国内は第二次産業の比率が異常に高い不健全な状態となる。

※2　グローバリゼーションの解説記事にマクドナルドの店舗の写真が添えられているのは、食文化のグローバル化の象徴であると同時に、刻々と変動する国際相場をにらんで、彼らの規準を満たした最適の牛肉、バンズの原料となる小麦の他、タマネギ、トマトケチャップなどを、世界中から最も安価な国を選んで大量に調達するからである。これを世界最適調達という。バーガーの原価は超企業秘密だが、パーツ別原価で、最も高いのは食物に触れても安全なインクで印刷され、油分もケチャップもしみ出ず手が汚れない、あの独特の包装紙だと言われている。

4）グローバル化の被害を受けているのは、アジアNIESなどと異なり、アフリカやラテンアメリカの貧しく債務に苦しむ国である。

ヨーロッパの地域統合　　№198の復習も兼ねて次の過去問を解いてみよう。

2013 昭和女子大学（ほぼ原問のまま。一部改変）　　太線＋細下線は著者がつけ加えた。

第二次世界大戦の結果、米ソ両国が戦後世界における指導的立場を獲得した半面、ヨーロッパ諸国は指導的立場を失った。アメリカ合衆国の経済援助であるAヨーロッパ経済復興援助計画によって、西ヨーロッパは戦後の復興を軌道にのせた。この計画の受け入れのためにつくられた［ア］が西ヨーロッパ経済協力の出発点となった。1952年には、B ECSCを発足させ、これを全経済分野に広げる1957年の［イ］条約に基づいて、1958年にEECと［ウ］を結成した。

1967年には、EECなど3つの機構は合併して、ECとなった。当初、イギリスはEECに参加せず、C 1960年にEFTAを結成していたが、1973年には、［エ］・［オ］とともにECに加盟し、西ヨーロッパの経済統合が大きく進展した。さらに、1981年には［カ］、1986年には［キ］・ポルトガルといった南ヨーロッパ諸国をもくわえて、EC加盟国は12カ国となり、巨大な統一市場へと発展した。

さらに、EC加盟国は［ク］により、1992年末までに完全市場統合をめざすことを決定した。1990年のD東西ドイツ統一を経て、1992年には［ケ］条約が採択され、翌年、EUが発足した。1999年には、EUは一部をのぞき通貨統合を実現し、2002年からEユーロ紙幣および硬貨が通用するようになった。2007年にはF EU加盟国は27カ国に達し、域内人口は約［コ］人におよぶ規模となり、経済的にもGアメリカ合衆国と肩を並べる大連合体へと発展している。

問1　下線部Aについて説明した次の文のうち、**誤っているもの**を1つ選びなさい。
a　この計画は、アメリカ合衆国国務長官マーシャルが提案した。　b　この計画は、トルーマン大統領のとき実施された。
c　この計画には、ソ連や東欧も参加した。　d　この計画は、1948年から1951年にかけて実施された。

問2　［ア］にあてはまるものはどれか。1つを選び、その記号を選びなさい。
a　OEEC　b　OSCE　c　NATO　d　IBRD

問3　下線部Bについて説明した次の文のうち、**誤っているもの**を1つ選びなさい。
a　ECSCは、石炭・鉄鋼産業を共同運営するために結成された。
b　ECSCには、フランス・西ドイツ、ベネルクス３国、イタリアが参加した。
c　ECSCは、アメリカ合衆国上院議員マッカーシーが提唱して創設された。
d　ECSCは、国境を越えた共同市場創設の試みであった。

問4　［イ］にあてはまるものはどれか。1つ選びなさい。
a　パリ　b　ロンドン　c　ローマ　d　ベルリン

問5 [ウ]にあてはまるものはどれか。1つ選びなさい。
a COMECON　b EURATOM　c CSCE　d CENTO
問6 下線部Cについて、**EFTAに加盟した国**として**誤っているもの**を1つ選びなさい。
a スイス　b オーストリア　c ノルウェー　d ルクセンブルク
問7 [エ]－[オ]にあてはまる組合せはどれか。1つを選びなさい。
a スウェーデン － フィンランド　b ポーランド － ハンガリー
c デンマーク － アイルランド　d フィンランド － デンマーク
問8 [カ]－[キ]にあてはまる組合せはどれか。1つを選びなさい。
a スイス － スペイン　b ギリシア － スペイン
c ギリシア － エストニア　d スイス － エストニア
問9 [ク]にあてはまるものはどれか。1つを選びなさい。
a パリ憲章　b シェンゲン協定　c 単一欧州議定書　d ヘルシンキ宣言
問10 下線部Dについて説明した次の文のうち、**誤っているもの**を1つ選びなさい。
a 1989年10月に東ドイツ社会主義統一党書記長のホネカーが退陣した。
b 1961年に東ドイツが構築したベルリンの壁が1989年11月に開放された。
c 1990年3月に東ドイツの自由選挙で早期統一を主張する連合党派が勝利した。
d 西ドイツ首相がキリスト教民主同盟のブラントのとき、正式にドイツは統一された。
問11 [ケ]にあてはまるものはどれか。1つを選びなさい。
a ローマ　b アムステルダム　c ブリュッセル　d マーストリヒト
問12 下線部Eについて、**ユーロを導入していない国**はどれか。1つ選びなさい。
a イギリス　b オーストリア　c イタリア　d ベルギー
問13 下線部Fについて、**この27カ国に含まれない国**はどれか。1つ選びなさい。
a ハンガリー　b トルコ　c キプロス　d ブルガリア
問14 [コ]にあてはまるものはどれか。1つ選びなさい。
a 5億　b 10億　c 15億　d 20億
問15 下線部Gについて、**アメリカ合衆国がEUに対抗する目的もあって1994年に発足させたカナダ・メキシコとの自由貿易協定**はどれか。1つを選び、その記号をマークしなさい。
a ANZUS　b APEC　c NAFTA　d OAS

正解 問1 c　問2 a　問3 c　問4 c　問5 b　問6 d　問7 c　問8 b
問9 c　問10 d　問11 d　問12 a　問13 b　問14 a　問15 c

そのほかの地域統合

1）1989年の【4:　　】(APEC)　ASEANについて№205参照
オーストラリア・日本・アメリカ・カナダ・ニュージーランド・韓国とASEAN６カ国 ※3 で結成されたアジア・太平洋地域の経済協力会議。貿易・投資の自由化が目的。

※3　ASEAN原加盟国（1867）はインドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイの５カ国。これに、1984年にブルネイ、1995年にベトナム、97年にミャンマー・ラオス、99年にカンボジアが加盟。よって、APEC結成時（1989）のASEANは原加盟国＋ブルネイの６カ国である。

2）1963年のアフリカ統一機構（OAU）→2002年の【5:　　】(AU)　№200参照

グローバリゼーションの光と影

1）グローバリゼーションのもとで、運輸と通信技術の爆発的な発展や、冷戦終結後の自由貿易圏の拡大によって経済活動が活発化したが、反面、土地や原料、株式等において投機的な動きも発生し、2008年にはアメリカにおける金融危機 ※4 が、たちどころに世界化（2008年国際金融危機）してしまうという面も持っている。

※4　サブプライムローンという低所得者層向けの住宅ローンがあった。借り始めは低金利だが、数年後に金利が大幅に上がる仕組み。当時のアメリカは不動産バブルの状態で、返済できなくなったら家を売却すれば完済できた。しかし、家の供給が需要を上回りバブルは崩壊。元々返済能力の低い人達へのローンだから、完済できるはずもなく、住宅を売ろうにも買い手がいない。2007年からの住宅市場の大幅な悪化とともに、サブプライム住宅ローンの延滞率が上昇し、住宅差押え件数も増加を続け歯止めが効かないことを受け、2008年９月８日 米国財務省が追加で約３兆ドルをつぎ込む救済政策を決定したが、もうどうしようもなかった。ローンを組んでいた人達は自己破産、そして貸し手側の金融機関はとんでもない額の大赤字を抱え込んでしまった。**サブプライムローンは他の債権と組み合わせて証券化され、販売されていた**ので、それを買っていた投資家や銀行が一気に資産を失ってしまう事態にまでなってしまった。リーマン・ブラザーズも例外ではなく多大な損失を抱え、2008年９月15日（月曜日、「ブラックマンデー」）に破綻、同社が発行している社債や投信を保有している企業への影響、取引先への波及と連鎖などの恐れ、及びそれに対する政府の対策の遅れからアメリカ経済に対する不安が広がり、2008年国際金融危機と呼ばれる事態へと連鎖した。これを、「リーマンショック」ともいう。

2）国際金融についてはG８（主要国首脳会議）でも調整を行っているが、アジア通貨危機（1997年、№206参照）を受けて、1999年に、中華人民共和国・大韓民国・インド・ブラジル・アルゼンチン・オーストラリア・トルコ・インドネシア・メキシコ・サウジアラビア・南アフリカという新興経済国11カ国とＧ８を加えた計20カ国で、【6:　　】と呼ばれる金融に関する国際会議が開催された。2008年には、リーマンショック（2008年国際金融危機）を受けて、首脳レベルで開催された。